

図書館 掲 示 板

第57回 岩手の読書週間

読書推進標語・手づくり絵本入賞者、読書推進運動功績者

岩手の読書週間は、2月1日～14日までの“春を待つ、雪解け前の静けさの中で、本に親しもう”というスローガンのもと、岩手県独自の読書週間として昭和35年に設定されました。この期間中は読書週間を全県的に展開し、読書普及活動をおこなっています。

読書週間期間中の主催行事として、平成28年度「岩手県読書をすすめるつどい」が2月4日（土）にアイーナで開催され、読書推進標語と手づくり絵本の入賞者や読書推進運動功績者の表彰が行われました。読書推進標語の応募点数は1,239点、手づくり絵本は107点の応募があり、また、読書推進運動功績者としては1人と3団体が表彰されました。

手づくり絵本の応募作品は2月3日～2月12日まで県立図書館で開催した「第37回手づくり絵本展」で展示した後、一部作品を除き県内の図書館等で巡回展示が行われています。

最優秀賞、優秀賞は次の方々です。（敬称略）

1 読書推進標語入賞者

- 最優秀賞** 『きこえるよ みつけてほしい 本のこえ』
須藤 百香（奥州市立胆沢第一小学校1年）
- 優 秀 賞** 『本気の読書は自分を変える』
菅原 尚輝（岩手県立盛岡北高等学校2年）
- 『たのしいよ ママきいててね よむからね』
千葉 光（奥州市立前沢小学校1年）



2 手づくり絵本入賞者

<子どもの部>

- 最優秀賞** 「ふしぎなポンケーキ」
齋藤 環（奥州市立水沢小学校2年）
- 優 秀 賞** 「おかしのにへごしようたい」
川村 朝妃（八幡平市立平館小学校1年）
- 「食べごろきゅうりの物語」
山本 由愛（二戸市立仁左平小4年）
- 「What color do you like?」
稲垣 花音（滝沢市立滝沢南中学校3年）



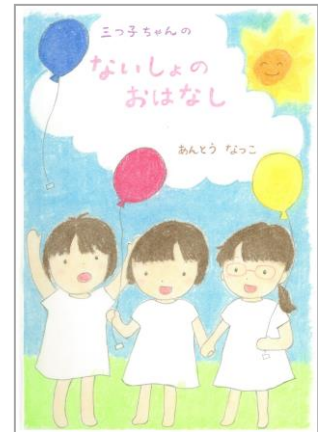
<一般の部>

最優秀賞 「三つ子ちゃんのないしょのおはなし」
安東 奈都子（一関市）

優秀賞 「いってきまーす」
中津山 民恵（一関市）

「うさことルーパ がっこうへいく」
石黒 暁子（八幡平市）

「あした天気になあ〜れ！
〜マコチンのはじめての夏休み〜」
沼井 芳子（二戸市）



<わかばの部>

最優秀賞 「しゅんのぼうけん」
小笠原 駿 小笠原 舞子（二戸市）

優秀賞 「ねことわたし」
長谷川 野ノ花 長谷川 亜希子（釜石市）

「おともだちとあそんだよ」
瀬尾 龍ノ介 瀬尾 ゆかり（久慈市）

「ねことヴァイオリン」
宮本 幸奈 宮本 豪 宮本 久美子（滝沢市）



3 読書推進運動功績者

■澤村 義男（一戸町）

公立学校の教員として作文教育に尽力し、読書の重要性と児童の直接体験との結びつきに着目してきた。退職後の平成6年4月に自宅を「おしいれ図書館」として地域の子供達に開放し、読書活動推進の大切な環境作りに貢献した。さらに、おしいれ図書館開設とほぼ同時期から、一戸町立小鳥谷小学校で読み聞かせ活動を継続的に行い、地域の子どもの読書活動に貢献した。

■グループわらべ 代表 佐々木 文子（遠野市）

婦人ボランティアとして10年間の活動ののち、「グループわらべ」を昭和63年4月に結成した。お手玉や竹遊びなどの地域の伝承遊びや絵本の読み聞かせ、自主制作した大型紙芝居の実演等を通して、子どもの心の豊かさや創造性を育むことを目的として活動している。

遠野市内行事での公演も積極的に行い、地域全体の読書活動推進の意識向上に貢献した。会員ひとりひとりが得意分野を生かし、自身も楽しみながら活動することで互いに信頼関係を築いている。

■読書ボランティア たんぽぽ 代表 筑後 順子（北上市）

岩手県立中部病院が読み聞かせボランティアを募集し、参集した有志によって平成21年4月に結成した。同病院の小児病棟プレイルームや小児外来待合室で、図書館に来館できない闘病中の子どもに対し、絵本の楽しさや読書への関心・興味を醸成する活動として定期的に読み聞かせ等を実施している。また、看病する保護者にとっても安らげるひと時となっており、病院における読書推進活動に貢献した。

■一関市立新沼小学校図書館ボランティア 代表 近江 里美（一関市）

会員同士が仕事を持ちながらも、交替で児童のために読み聞かせ等を継続し、読書普及活動を実施してきた。活動を保護者に限定せず、通学児童のいない地域の高齢者なども巻き込んで、地域の子どもたちへの読書のきっかけ作りとしての活動を継続している。

さらに、近隣の保育園や一関市藤沢町内の他の小学校のボランティア団体と連携しながら、読み聞かせ会の応援協力も行い、地域に密着した読書活動に貢献した。